

「第1回加西薪能」が5月4日、玉丘史跡公園で開催され、約1300人が来場しました。舞台は、加西市の竹や松、薪を使い、幻想的な世界が創りあげられました。

薪能に先立ち、「加西市こども狂言塾」の小学6年生と中学1年生の22人が、根日女伝説を題材にした新作狂言『根日女（ねひめ）』を精一杯演じました。昨年8月から月2回程度稽古に励んだ塾生は、野村萬斎さんらの指導のほか、市民有志で結成された応援隊のサポートにより、堂々とした立ち居振る舞いを披露しました。

午後6時に薪に火が入り、かがり火に照らされた演者が、狂言『靉猿（うつぼざる）』と能『羽衣』を演じました。

狂言『靉猿』では、大蔵流茂山家の茂山七五三さん、息子の逸平さん、孫の慶和さんと3代が競演。猿を演じる慶和さんの姿がほほ笑ましく、会場の雰囲気緩和されました。

三保の松原を舞台に漁師が天女に会う能『羽衣』では、観世鏡之丞さんが華麗に舞い、加西市能・狂言総合プロデューサーの藤田六郎兵衛さんが笛の音を響かせました。

今後、市民の皆さまの絆をさらに深めて、加西市の伝統文化をはじめ、加西市こども狂言塾による狂言を継承していきます。



華麗に舞う能楽師の観世鏡之丞さんら（能『羽衣』）



猿を演じる茂山慶和さんが会場を和ませました（狂言『靉猿』）



熱演する「加西市こども狂言塾」の塾生（新作狂言『根日女』）



「加西市こども狂言塾」の塾生を支えてきた応援隊の皆さん

イオンモール加西北条と「歩くまちづくり」に関する協定を締結

加西市とイオンモール加西北条は4月30日、生活の中で歩いて活動量を増やすことで健康になることを目指し、「歩くまちづくり」に関する協定を結びました。

■主な締結内容

- ・雨天時、夜間、夏季、冬季など、屋外でのウォーキングがおっくうになりがちな時に、同モールをウォーキング場所として提供します。
- ・同モールで、市の保健師や栄養士らが健康相談を行います。
- ・本年度実施予定の「運動ポイント事業」のポイント付与事業を実施します。



協定を結んだ西村和平市長（左）とイオンモール近畿北陸カンパニー兵庫事業部の南望部長

タウンミーティングの開催結果を報告します

問合せ／秘書課 ☎42-8701 FAX43-0291
hisho@city.kasai.lg.jp

4月16日から28日にかけて、小学校区ごとにタウンミーティングを開催しました。地域自治会を担われている皆さまを中心に、延べ368人の参加がありました。

「計画と戦略、何が未来を創るのか」をテーマに、意見交換しました。意見・提案と市の回答は市ホームページに掲載しています。

皆さまの意見や提案を可能な限り市政に反映させていただきます。



富田地区のタウンミーティング

■意見・提案と市の回答（一部抜粋）

意見・提案	市の回答
市は2040年に人口5万人を目標にしているが、毎年約500人減少している。人口増に向けてどのような取り組みをしていくのか。	ベルデ下里のような住宅地をつくっていくことが必要で、現状では開発できない土地を、整備できるようにしていきたい。危機感を持ち、皆さんと課題を共有しながら一つ一つ解決していきたい。
ジョギングやウォーキングをしている人が増えています。夜になると真っ暗で危険な場所があるので、防犯灯をつけてほしい。	市内で年間約100本分設置できるように予算化しています。「歩くまちづくり」を目指すためには防犯灯の設置が必要なため、要望のある場所を教えてください。
加西警察署から防犯カメラを設置してほしいとの要望がある。市の設置計画と、各町で設置した場合の補助はあるのか。	市では主要道路を中心に設置していきます。高額（1台50万円）のため、年2、3カ所を予定しています。各町で設置する場合は、県から8万円と市から4万円の補助制度があり、残りの金額が各町での負担となります。

春の褒章、春の叙勲、危険業務従事者叙勲

問合せ／秘書課 ☎42-8701 FAX43-0291
hisho@city.kasai.lg.jp

平成28年春の褒章、春の叙勲、危険業務従事者叙勲が4月29日付けで発令され、次の皆さんが受章されました。

春の褒章

■緑綬褒章（社会奉仕活動功績） 森 昭代さん（73）三口町 在宅福祉等奉仕者

一人暮らしの高齢者に配食する弁当づくりなどのボランティア活動を続けて約40年。「人づきあいが好きで、自分が楽しみながら活動をしています。長い間続けてこられたのは家族のおかげです」と語られました。



春の叙勲

■旭日双光章（地方自治功労） 小田 毅さん（74）鴨谷町 元兵庫県議会議員

約14年間県議会議員として、加西市内の産業団地や道路の整備など、加西の発展に尽力。「人との繋がりを大切に、仕事に取り組んできました。受章できたのも、皆さまの支援、ご指導のおかげです」と語られました。



■瑞宝双光章（更生保護功労） 後藤栄一さん（73）北条町東高室 保護司

犯罪や非行に陥った方の生活相談など、社会復帰への手助けをされ約30年。「世話をした子が、一人前に仕事をしている姿を見た時は本当にうれしい。家族の支えがあり、何十年も続けることができました」と語られました。



危険業務従事者叙勲

■瑞宝双光章（警察功労） 井上英樹さん（71）玉丘町 元兵庫県警部

「交通部などに配属され約40年間勤務。ひき逃げ捜査で証拠がない時には苦労しました。上司のご指導やいろいろな方の協力のおかげで受章することができました」と語られました。



■瑞宝双光章（警察功労） 松本明司さん（71）山下町 元皇宮警部

「皇宮警察として約40年間勤務。事件が起こらないよう未然防止に徹底して職務に努めました。過去の実績の積み重ねにより受章することができました」と語られました。

